

# 地球儀と世界地図

世界の姿

日本の姿

気候と暮らし

アジア州

ヨーロッパ州

アフリカ州

北アメリカ州

南アメリカ州

オセアニア州

今日の問い

地球儀と世界地図には、それぞれどんな長所と短所があるのだろう。

読み終えたら、最後の「問いへの答え」を見る前に、自分の言葉で答えてみよう。

## 1 地球儀と世界地図

地球儀

ちきゅうぎ  
地球儀

地球をそのまま小さくした模型。

ほうい  
方位

東西南北などの向き。

ずほう  
図法

丸い地球を、平面の地図に表す方法。

**地球儀**は、地球をそのまま小さくした模型で、陸地の形や**面積**、2地点間の**距離**や**方位**を、ほぼ正しく表すことができる。しかし、持ち運びに不便で、世界全体を一度に見わたすことができない。

**世界地図**は、持ち運びやすく、世界全体を一度に見わたせる。しかし、丸い地球を平面に表すため、形・面積・距離・方位のすべてを同時に正しく表すことはできない。そこで、目的に合わせて、どれかを正しく表すくふうをしたさまざまな**図法**の地図がつくられている。

## 2 いろいろな図法

図法

ずほう  
メルカトル図法

経線と緯線が直角に交わり、角度が正しい図法。

せいきょほういずほう  
正距方位図法

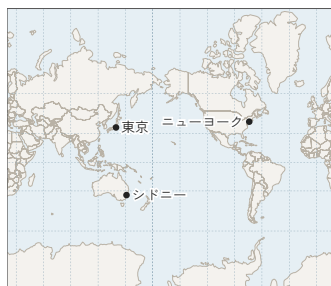
図の中心からの距離と方位が正しい図法。

たいけんこうろ  
大圏航路

地球上の2地点を結ぶ最短のコース。

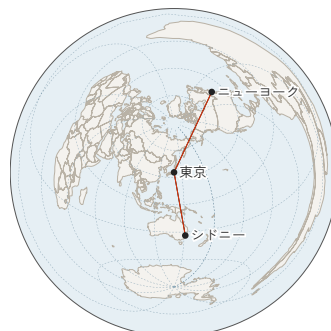
**メルカトル図法**は、経線と緯線が直角に交わり、角度が正しく表されるので、昔から船の**航海図**に使われてきた。ただし、**高緯度**ほど面積が実際より大きく表され、**グリーンランド**はオーストラリア大陸より大きく見える。

**正距方位図法**は、図の中心からの距離と方位が正しい。中心と結んだ直線が最短のコース(**大圏航路**)になるので、**航空図**に使われる。**モルワイデ図法**などの面積が正しい図法は、人口などの**分布図**に使われる。



**メルカトル図法**

角度が正しい。高緯度ほど面積が大きくなる。航海図に使う。



**正距方位図法**

中心(東京)からの距離と方位が正しい。航空図に使う。



**モルワイデ図法**

面積が正しい。外わくはだ円形。分布図に使う。

### 問いへの答え

地球儀は、形・面積・距離・方位をほぼ正しく表せるが、持ち運びに不便で、世界全体を一度に見わたせない。世界地図は持ち運びやすく全体を見わたせるが、すべてを同時に正しく表せないなので、航海図にはメルカトル図法、航空図には正距方位図法のように、目的に合った図法を使い分ける。

次は **ノート** で、下線に語句を書きながら確かめよう →

